

## 令和5年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：福島県

農業委員会名：大玉村農業委員会

## I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

※「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和2年7月20日

任期満了年月日 令和5年7月19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	9	9
認定農業者	—	7
認定農業者に準ずる者	—	1
女性	—	0
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	8	8	16

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	709
農業経営体数	542

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	571
女性	247
40代以下	8

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	83
基本構想水準到達者	21
認定新規就農者	2
農業参入法人	5
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,170	432	341	9	82	1,602

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## Ⅱ 最適化活動の実施状況

### 【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

#### 1 最適化活動の成果目標

##### (1) 農地の集積

###### ① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	1,602 ha	519.4 ha	32.4 %
課題	田の地形条件により集積の選択肢とならない農地が多い。また、集積を進める一方、条件の悪い農地を返却される傾向もある。中山間地域は集積されない。畑については、集積需要はほぼない状況である。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

###### ② 目標

農地の集積の目標年度	令和11年度	集積率	75.0 %
今年度の新規集積面積	97.4 ha	農地面積(C)	1,602 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	616.8 ha	(目標)今年度末の集積率(E)=(D)／(C)	38.5 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

###### ③ 実績

今年度の新規集積面積	6.2 ha	農地面積(F)	1,580 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	525.6 ha	今年度末の集積率(H)=(G)／(F)	33.3 %
目標に対する達成状況(H)／(E)	86.5 %		

農業委員会の点検結果	未契約での貸付、また契約期間が切れ数年後に再契約となったケース(134.4ha)があり、新規集積は目標を下回った。
------------	---

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

#### (2) 遊休農地の発生防止・解消

##### ① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積		
	うち緑区分の遊休農地面積		うち黄区分の遊休農地面積
	25.1 ha	5.9 ha	19.2 ha
農業をやればやるほど赤字が膨らむ現状で、農業離れが加速している。経営主の平均年齢は68.8歳であり、ほぼ兼業農家である本村において、家族間の次世代に経営が繋がらないケースが見え始めた。 相続がされず、手つかずの農地が増加傾向である。			

##### ② 目標

###### ア 既存遊休農地の解消

###### a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	8.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	1.6 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	29.7	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	8月に農地パトロールを実施し、意向調査後策定する。併せて、非農地の地目変更登記同意確認作業を並行する。	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	2.0	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	1.7	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	106.3	%

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	策定に向けて調査研究中。
-------------------------	--------------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.6	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年9月4日～15日		令和5年9月～10月	
	1号遊休農地の面積	14.3 ha	うち緑区分の遊休農地	4.7 ha
			うち黄区分の遊休農地	9.6 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年10月		令和5年11月～12月	

農業委員会の点検結果	57筆4.5haの解消、431筆40.5haの非農地判断により耕作可能な農地面積の把握ができた。
------------	--

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	2年度新規参入者		3年度新規参入者		4年度新規参入者	
	0	経営体	0	経営体	2	経営体
	0.0	ha	0.0	ha	0.4	ha
課題	貸し手の情報を台帳管理し、受け手に対する情報発信と必要とされる研修等が求められる。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
	31.4 ha	25.7 ha	46.8 ha	34.6 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	4.0 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

### ③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		32.1	ha
公表URL	<a href="https://www.vill.otama.fukushima.jp/shigoto_sangyou/nogyoiinkai/">https://www.vill.otama.fukushima.jp/shigoto_sangyou/nogyoiinkai/</a>	(その他の公表方法)	-
目標に対する達成状況(B)/(A)		802.5	%
(参考)新規参入者の参入状況		参入経営体数	0 経営体
		取得農地面積	0.0 ha

農業委員会の点検結果	目標を上回る貸付等の同意が得られた。
------------	--------------------

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

## 2 最適化活動の活動目標

### (1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	8 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	8 人
		農地利用最適化推進委員の人数	8 人

### (2)活動強化月間の設定

#### ①目標

活動強化月間の設定回数	4 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
4月	遊休農地の解消	前年度の意向調査結果(自作・保全管理)に基づく農地調査
11月	新規参入の促進	新規就農者の情報収集及び相談会の開催
12月	農地の集積	農業者からの情報収集
1月	農地の集積	意向調査結果(中間管理機構利用希望)に基づく農地調査

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

#### ②実績

活動強化月間の設定回数	4 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の結果
4月	②遊休農地の解消	前年度の意向調査結果(自作・保全管理・未回答)の61筆5.9haを再調査した。
11月	③新規参入の促進	期間内の新規就農相談はなかったが、年間では8件の新規就農相談があった。
12月	①農地の集積	貸し借りの契約推進と、未相続の手続きについて情報発信をした。
1月	①農地の集積	中間管理機構利用希望農地49筆5.2haを再調査した。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

### (3)新規参入相談会への参加

#### ①目標

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	令和5年11月	相談会名	新規就農相談会
参加者数	2人	開催場所	大玉村役場
相談会の内容	貸し手情報を集約し、11月を相談月間とする。また、随時新規就農の相談会を開催し、相談予約に応じて地区の農業委員・推進委員が同席し情報を共有、必要な支援を行う。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

#### ②実績

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	令和5年4月6日	相談会名	新規就農相談会
参加者数	8人	開催場所	大玉村役場分庁舎
相談会の内容	県内からの移住者から農地取得の相談を受けたことから、県普及所、JA、農業委員が参集し、希望の聴取と情報提供を行った。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

#### 目標の達成状況の評語

目標に対して期待を上回る結果が得られた
---------------------

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

#### 【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	2
目標に対し期待を上回る結果が得られた	9
目標に対して期待どおりの結果が得られた	5
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	0

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入